

## 「建て得リフォーム カタログ」の誤記に関するお詫びと訂正のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は建て得サービスに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記カタログに掲載されているLIXIL設計サポートによる耐震診断に関する表記に誤りが判明いたしました。お詫びを申し上げますとともに、訂正のご案内をさせていただきます。

お手数をおかけし、誠に申し訳ございませんが、カタログをご覧いただく際は、ご留意賜りますようお願い申し上げます。

なお、該当箇所については次回カタログ改訂時(2024年10月予定)に訂正いたします。

今後とも弊社 建て得サービスをご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 【該当箇所】

「建て得リフォームカタログ」(カタログコード: XG2100)

4ページ、5ページ、6ページ、8ページの「配管方法」下の注記および20ページ「建て得リフォーム条件」

ページ	内容
P4	誤 ※昭和56年6月1日以前の確認申請案件の場合でLIXIL設計サポートによる耐震診断を受けて合格した案件は適応可とします。 【訂正前】P4の例 (赤い線は実際のカタログにはございません) ご利用条件 築年数: 昭和56年6月1日以降に確認申請をした建物※ 電気契約のお申込みは任意 配管方法 屋外スリムダクト配管 屋内モール配線 ● お客様 ● ビルダー様 ● LIXIL ● LTSP
P5	※昭和56年6月1日以前の確認申請案件の場合でLIXIL設計サポートによる耐震診断を受けて合格した案件は適応可とします ・色分けされたマークは関係者をあらわしています ・LTSPはLIXILTEPCO スマートパートナーズの略称です
P6	正 ※建築確認申請の建築確認日が昭和56年5月31日以前の建物(旧耐震基準)で断熱改修後のプランについて耐震診断により、上部構造評点が1.0以上であることが確認できた案件は適用可とします。耐震診断は「LIXILのお住まい耐震診断」又は「耐震診断士による耐震診断」により実施していることとします。 【訂正後】P4の例 (赤い線は実際のカタログにはございません) ご利用条件 築年数: 昭和56年6月1日以降に確認申請をした建物※ 電気契約のお申込みは任意 配管方法 屋外スリムダクト配管 屋内モール配線 ※建築確認申請の建築確認日が昭和56年5月31日以前の建物(旧耐震基準)で断熱改修後のプランについて耐震診断により、上部構造評点が1.0以上であることが確認できた案件は適用可とします。耐震診断は「LIXILのお住まい耐震診断」又は「耐震診断士による耐震診断」により実施していることとします。
P8	誤 ※昭和56年6月1日以前の確認申請案件の場合でLIXIL設計サポートによる耐震診断を受けて合格した案件は適応可とします 正 削除(誤った表記であり、該当しないため削除します)
P20	誤 SW工法リフォーム、まるごと断熱リフォームは昭和56年5月31日以前に確認申請されている建物ではご利用いただけません。 正 SW工法リフォーム、まるごと断熱リフォームは昭和56年5月31日以前に確認申請されている建物ではご利用いただけません。ただし、建築確認申請の建築確認日が昭和56年5月31日以前の建物(旧耐震基準)で断熱改修後のプランについて耐震診断により、上部構造評点が1.0以上であることが確認できた案件は適用可とします。耐震診断は「LIXILのお住まい耐震診断」又は「耐震診断士による耐震診断」により実施していることとします。